

令和7年度学校自己評価システムシート（川越市立川越高等学校）

目指す学校像	(1) 心身ともに健全で、進取の気性に富む人物を養成する (2) 個性を伸ばすとともに協調的精神を養成する (3) 職業を通じて社会に貢献しようとする人物を養成する
--------	--

重点目標	1 進路希望の実現に向けた支援の充実 2 地域に開かれた学校づくりの推進 3 時代の変化に応じた教育力の向上
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。		
出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○卒業生 273 名のうち 266 名の進学・就職が決まり、現役での進路実現率は 97%であった。また、約 82%の生徒が進学をしており、進学指導のさらなる充実が必要である。 ○学力向上のために、家庭学習の定着が大きな課題である。	生徒一人一人の進路希望の実現に向けた指導の充実	○進路を意識させることで、学習へのモチベーションを上げる工夫を各教科で検討する。 ○進学希望、就職希望それぞれの実現のための支援をさらに充実する。 ○資格取得に向けた指導をさらに推進する。	○進路実現率 9 5 %が達成できたか。 ○家庭学習を 1 時間以上する生徒は増えたか。 ○全商検定 3 種目以上 1 級取得 5 0 名以上、さらに就職希望者の内定率 1 0 0 %が達成できたか。			
2	○昨年度より推進している市内小学校や中学校との連携をさらに効果的なものに発展させていく必要がある。 ○地域や企業との連携を推進に本校の学びを発展させる。	積極的な情報発信と家庭・地域との連携強化	○メール配信を保護者向けにも徹底し、ホームページの活用とともに、教育活動の情報発信、学校理解、情報提供をすすめる。 ○総合的な探究の時間の中で、川越市、企業（JTB）と連携し、地域の課題解決などに取り組む。	○HP、学校案内、メディア等を活用し、学校の情報を発信できたか。 ○1 0 校以上の中学校との連携を実現できたか。 ○川越市を愛する生徒を育成できたか			
3	○生徒の多岐な進路に合った進路実現を図る教育活動を更に充実させる。 ○「主体的・対話的で深い学び」やICT活用の推進など、授業改善を進める必要がある。	生徒が主体的に学ぶ授業の構築に向けた授業実践	○授業観察、授業公開等をより広く実施し、「授業で勝負」の気風をさらに発展させる。 ○タブレットをはじめとしたICTの活用を進め、主体的な学びにつなげていく。	○授業は、生徒が興味を持つように、また、分かりやすいように工夫されているに対して 7 0 %以上が大体当てはまると回答したか。 ○授業や家庭学習でタブレットを活用できているに対して 8 0 %以上が大体当てはまると回答したか。			

学 校 関 係 者 評 価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等